

ため池浸水想定区域

Flood Prone Areas by Ponds

今後発生が予測される南海トラフ地震や台風、局地的な集中豪雨等により、ため池の堤体が決壊した場合の氾濫解析を行い、浸水想定区域を示した地図です。

高松市
ため池防災
ウェブページ

日頃のため池管理

ため池の草刈

- 堤体上の雑草は、ため池の亀裂や陥没、変形、モグラの穴などの変状を確認する上で妨げになります。
- 年に数回程度は草刈りをし、樹木類は幼木のうちに伐採して、ため池の異常を早期発見しましょう。

余水吐の管理

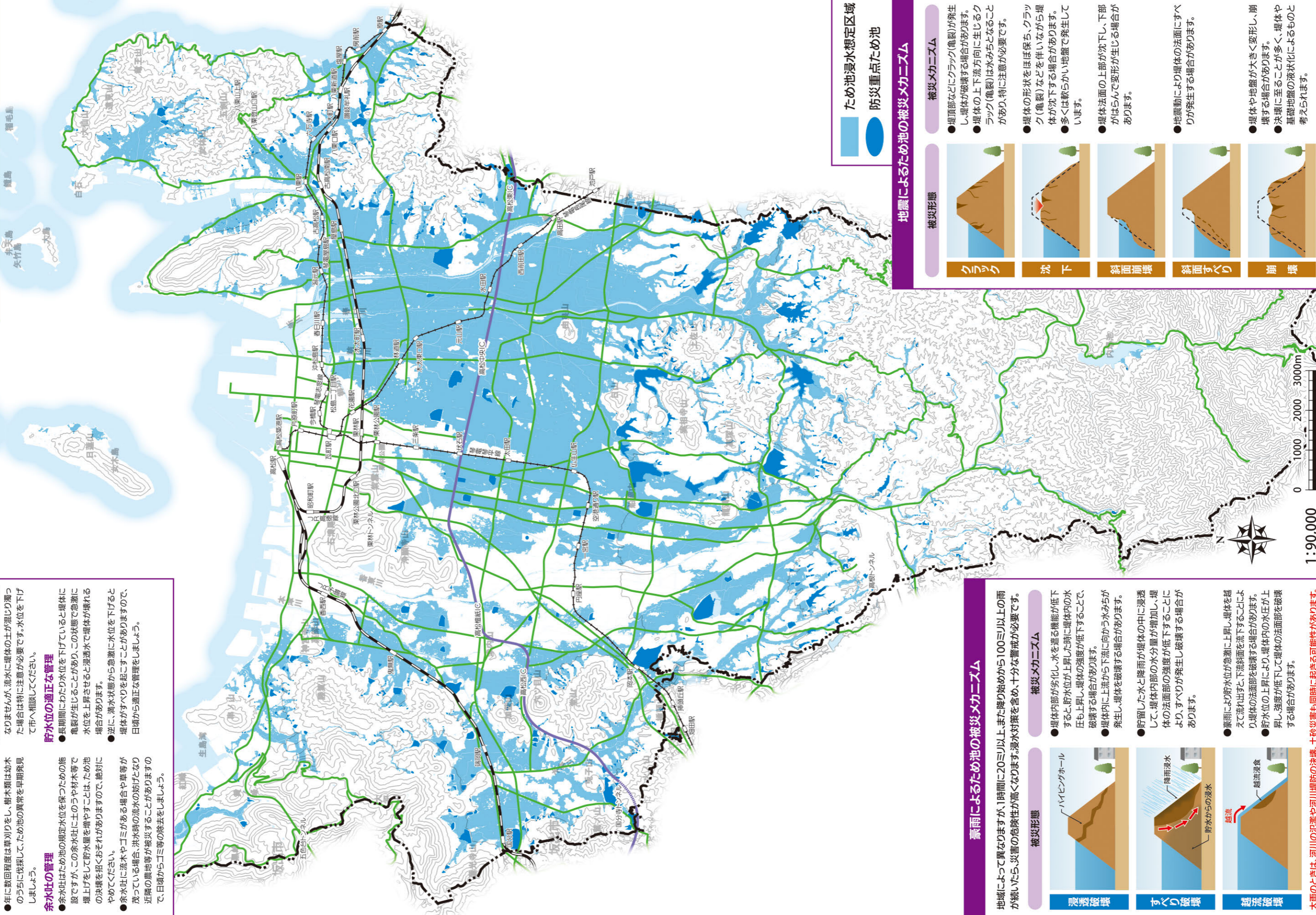
- 余水吐はため池の指定水位を保つための施設ですが、この余水吐に土のうや材木等で堰上げをして貯水量を増やすことは、ため池の決壊を招くおそれがありますので、絶対にやめてください。
- 余水吐に流木やゴミがある場合や草等が茂っている場合、洪水時の流水の妨げとなり近隣の農地等が被災することがありますので、日頃からゴミ等の除去をしましょう。

漏水の確認

- 漏水等の確認のため定期的な巡視を行います。
- 漏水があっても直ちに危険ということにはなりません。流水に堤体の土が濡り濡つた場合は特に注意が必要です。水位を下げ、市へ相談してください。

貯水位の適正な管理

- 長期間にわたり水位を下けていると堤体に亀裂が生じることがあり、この状態で急激に水位を上昇させると浸透水で堤体が壊れる場合があります。
- 逆に、満水状態から急激に水位を下げると堤体がすべりを起こすことがありますので、日頃から適正な管理をしましょう。



ため池浸水想定区域
防災重点ため池

地震によるため池の被災メカニズム

被災形態	被災メカニズム
クラック	●堤頂部などにクラック(亀裂)が発生し、堤体が破壊する場合があります。 ●堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちらとなることがあり、特に注意が必要です。
沈下	●堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。 ●多くは軟らかい地盤で発生しています。
斜面崩壊	●堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
斜面すべり	●地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
崩壊	●堤体や地盤が大きく変形し、崩壊する場合があります。 ●決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨によるため池の被災メカニズム

被災形態	被災メカニズム
浸透破壊	●堤体内部が劣化し、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体内の水圧も上昇し、堤体の強度が低下することで、破壊する場合があります。
すべり破壊	●堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、堤体を破壊する場合があります。
越流破壊	●貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することにより、すべりが発生し破壊する場合があります。
	●豪雨により貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することにより、堤体の法面部を破壊する場合があります。
	●貯水位の上昇により、堤体内の水圧が上昇し、強度が低下して堤体の法面部を破壊する場合があります。

大雨のときは、河川の氾濫や河川堤防の決壊、土砂災害も同時に起きる可能性があります。